

一真会報

発行所 妙法山 雲雷寺
編集長 住職 伊丹瑞廣
編集員 執事

高祖日蓮大聖人 ご報恩お会式法要

当山では左記の通り、第七四四回目のお会式法要をお勤め致します。皆様お繰り合わせ是非ご参詣下さい。

十一月十六日(日) 午後一時より 一真会堂にて

午後一時 ご報恩お会式法要

十月十三日は、日蓮聖人のご命日にあたります。日蓮聖人に対するご報恩のため、その日に檀信徒が集い営まれる「日蓮聖人ご報恩お会式」を略して、今日では「お会式」と呼ばれています。当日は、身延山・久遠寺や池上・本門寺などの全国大寺院で大法要が勤められます。当山では八月の盂蘭盆施餓鬼会、九月の秋季彼岸会と年中行事が続く為、翌月の十一月に繰り越してお勤め致します。

萬灯作りについて

日蓮聖人が亡くなった日、桜の木が季節はずれの花を咲かせたという話から、桜の造花を飾って萬灯供養を盛大に行う様になりました。例年萬灯作りを皆様と共にご用意しておりましたが、行程の簡略化に伴い、令和七年度より僧侶のみにてご用意する事となりました。



報恩感謝の建塔供養について

高祖日蓮大聖人に対するご報恩のために卒塔婆を建てることを建塔供養と云います。建塔供養をされた方には、家内安全・息災延命のご祈願と、ご先祖様へのご回向もあわせて致します。また、「高祖日蓮大菩薩擁護」のお札とお会式饅頭(雲雷寺オリジナル・桜の蕾と開花をイメージ)などを送ります。

◎建塔供養料は、お施主様お一人につき一金五千円也をご山納頂きます。ご希望の方は別紙ハガキにご記入の上早めにご返信下さい。

身延山 御年頭会について

日蓮聖人の年初ご命日に大聖人に賀を献じ、忍難慈勝のご生涯を偲びつつ、祖願達成を祈るご年頭の法会(御年頭会)に左記要領にて参列致します。ご希望者は早目に山主までお知らせ下さい。

日時 令和八年一月十三日(火)

午前十時 祖師堂法要

午前十一時 曳馬式・祝賀の儀

場所 身延山久遠寺(南巨摩郡身延町身延三五六七)

費用 JR新大阪駅から身延駅迄の往復切符代(現地集合解散)

祝賀会費 五千円

※日帰りの為、宿泊費は必要ありません。詳しくは山主までお尋ね下さい。



雲雷寺だより

○三月二十七日

井元俊夫様の仏壇閉眼法要を、東野昌明執事が
お勤め致しました。

○三月二十九日

当山の一真会堂にて四月の盛運祈願祭を厳修
し、参詣者の家門繁栄と俱生霊神符着帯者の身体
健全などを祈念致しました。

松田由里子様の亡夫の三十三回忌法要を、伊丹
瑞廣住職がお勤め致しました。

○三月三十日

杉野敏雄様の亡妻の二十三回忌法要を、伊丹瑞
廣住職がお勤め致しました。

吉野正志様の仏壇閉眼法要を、本田貫真執事が
お勤め致しました。

○三月三十一日

九識靈断法の相談者様が来寺され、伊丹瑞廣住
職が指導致しました。

●四月三日

加納夕架子様の墓碑閉眼法要を、伊丹瑞廣住職
がお勤め致しました。

大阪市中央区仏教会の総会に伊丹瑞廣住職が
出席し、次期の理事に任命されました。

○四月五日

当山の一真会堂にて月例施餓鬼会法要を、伊丹
瑞廣住職がお勤めしました。

○四月七日

塘敬一様の亡父の二十七回忌法要を、伊丹瑞廣住
職が無参拝形式にてお勤め致しました。

吉野正志様の仏壇開眼法要を、本田貫真執事が
お勤め致しました。

○四月八日

当山の客殿二階にて、第十五期紹繼塾の開講式並
びに第一講が開講されました。

○四月十二日

当山の動物霊合祀墓にて納骨式を、伊丹瑞廣住職
がお勤め致しました。

○四月十三日

加藤良徳様の墓碑閉眼法要を、本田貫真執事が
お勤め致しました。

○四月十五日

小林一朗様の亡義祖母の二十七回忌法要を、本田
貫真執事がご自宅にてお勤め致しました。

○四月十八日

土居矢主子様の亡母の四十七回忌法要並びに墓
碑閉眼法要を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

○四月十九日

宝栄政子様の亡夫の十三回忌法要を、伊丹瑞廣住
職がお勤め致しました。

○四月二十日

今村美代子様の亡夫の満中陰忌法要を、本田貫真
執事がお勤め致しました。

野田四丁目妙見宮にて妙見祭を、伊丹瑞廣住職が
お勤め致しました。

○四月二十二日

土屋徳夫様の亡母の納骨式を、伊丹瑞廣住職がお
勤め致しました。

○四月二十四日

佐藤幹子様の亡父の一周忌法要を、伊丹瑞廣住職
がお勤め致しました。

○四月二十六日

当山の一真会堂にて五月の盛運祈願祭を厳修し、
参詣者の家門繁栄と俱生霊神符着帯者の身体健全
などを祈念致しました。

○四月二十九日

大島邦裕様の亡次男の三十三回忌法要を、東野昌明執
事がご自宅にてお勤め致しました。

●五月三日

当山の一真会堂にて月例施餓鬼会法要を、東野昌
明執事がお勤めしました。

○五月七日

小澤則夫様の亡母の七回忌法要を、本田貫真執事
がお勤め致しました。

道山喜一郎様の亡母の十七回忌法要を、本田貫真
執事がご自宅にてお勤め致しました。

大阪市中央区仏教会の予算総会が開かれ伊丹瑞
廣住職が理事として出席致しました。

○五月八日

当山の客殿二階にて、第十五期紹繼塾の第二講が
開講されました。

○五月九日

加藤真智子様の亡母の葬儀式を、伊丹瑞廣住職が
お勤め致しました。

お火焚き(おひたき)法要について

12月21日(日)、午後5時より本堂前において、古い仏具、位牌、お札、遺影、人形などの魂を抜き、感謝を込めてのお焚き上げを致しますのでご参詣下さい。法要準備等がありますので、前日の午後5時までに当山にお預け下さい。終了後客殿に於て、普賢三宝大荒神(ふげんさんぼうだいこうじん・火と水の神、台所におまつりします)と、烏蘇沙摩明王のお札(うすさまみょうおう・不浄な所、トイレにおまつりします)を授与致します。



除夜憶念の鐘・献灯供養について



12月31日23時45分より(終了は1時00分を予定)、当山鐘楼堂にて「除夜憶念の鐘」を勤めます。また、108鍾までにつかれた方は、新年の「年中安泰祈祷札」をお渡しします。お早めにお越し下さい。

除夜の鐘をつく理由は、人の心にある煩惱や受けた難を祓うためと言われています。今年1年を振り返って自らの煩惱や難を祓う為、そして新年を気持ちよく迎える為に、お誘いあわせの上お越し下さい。

本堂内では献灯供養、境内や近隣店舗では夜食の出店も予定しております。仏様へ灯明を供養されたい方は堂内へお越し下さい。



日蓮宗加行所（大荒行堂）とは

日蓮宗の大荒行は、全国から 100 人前後の僧侶が集まり、毎年 11 月 1 日より翌年の 2 月 10 日まで行われます。

11 月 1 日に法華経寺内の大荒行堂へ全修行僧が向かう時、瑞門(ずいもん)と呼ばれる門をくぐります。この門は私達のいる場所と修行場を結ぶ唯一の出入り口であります。その為、全員がこの門をくぐった後は固く閉ざされ、2 月 10 日まで開く事はありません。外部との交流を遮断した結界での修行なのです。



瑞門



水行

荒行僧の 1 日は、早朝 2 時に起床し、朝 3 時、一番の水から午後 11 時まで 1 日 7 回、寒水に身を清める「水行」と、「万巻の読経」「木剣相承」相伝書の「書写行」があり、朝夕 2 回、梅干し 1 個の白粥の食事の生活が続きます。

最初の 35 日は、自らの「懺悔滅罪」を黙々とする自行と呼ばれます。手や足のひびやあかぎれが裂け、血が吹き出してくる苦修練行は、読経堂内の「寒水白粥凡骨将死」「理懺事悔聖胎自生」という対句のとおり、まさに「死と蘇生」の宗教的体験が秘められています。この期間が終わる翌日（12 月 6 日）より、5 分だけの面会や特別祈祷が許される様になります。

こうして続けられる、法華経万巻の読誦・唱題・水行・その他の勤役が「所作仏事」となって、目には見えない「現世安穩後生善処の法華経」の「妙法経力」が僧侶の心身に功德霊気となって経験・蓄積し、祈祷修法によってこれを発動させ、修法を受ける人々に効験利益を与えて、妙法広布の大願を成就するのです。

『寒水白粥凡骨将死』

寒風吹き下ろす中で冷水を浴び、白粥は僅かに命を繋ぐに過ぎず、寒さ骨にしみ入り凡夫の肢体は幾度か死境に趣かんとするほど弱くなる。

『理懺事悔聖胎自生』

一心に真理を悟ろうとその身・口・意に読経し、御題目を唱え、自らの罪を懺悔し、真理を悟る智力を頂き、遂に御仏とちがわない尊い姿と成る。



荒行堂祈願・荒行堂供養のご案内

「荒行堂祈願」・「荒行堂供養」とは、毎年 11 月 1 日から 2 月 10 日の 100 日間、法華経寺内の大荒行堂にてご修行されるお上人に、祈願と供養のお経を読んで頂くものです。修行僧しか立ち入れないお堂、同じく修行僧しか拝顔できないご本尊様への祈願・供養は、この 100 日の期間しかありません。また、全国の日蓮宗寺院においても、この「荒行堂祈願」・「荒行堂供養」の受付を行っている寺院は限られています。

ご希望の方は同封の申込書に必要事項をお書きの上、返信用封筒もしくは FAX(06-6761-4617)にてお申し込み下さい。後日郵便振替用紙をお送りしますので祈願料・供養料（いずれも 1 件 10000 円）の振り込みにお使い下さい。

明年 2 月 10 日満行の後、全修行僧の読経とお題目に触れた木札をお渡し致します。なお、準備などにお時間を頂く為、当山へのお申し込みは **12 月 5 日**までお願い致します。期限後の申込は受付できない場合がありますので、ご注意下さい。

また、申込用紙の取扱者(ご家庭の代表者様、申込用紙に記載している受取人様の欄)のお名前を必ずご記入下さい。こちらはお寺での申込確認や集計、発送等を行う際に拝見致します。ご協力をお願い致します。

荒行堂祈願 申込書

取扱者名

						祈願の主旨	年齢	性別	氏名
5	4	3	2	1					

○祈願の主旨

家門繁栄・子孫長久・家内安全・身体健全・心願成就
 当病平癒・手術成功・事業繁栄・商売繁盛・交通安全
 良縁成就・子授成就・安産成就・発育成就・入学成就
 合格成就・進学成就・罪障消滅・因縁消滅・等々

※荒行堂祈願料

一件

一万円

※締切

十二月五日

荒行堂供養 申込書

取扱者名

						先祖代々 もしくは 法名	施主
5	4	3	2	1			

※荒行堂供養料

一件

一万円

※締切

十二月五日